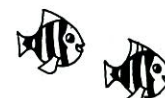
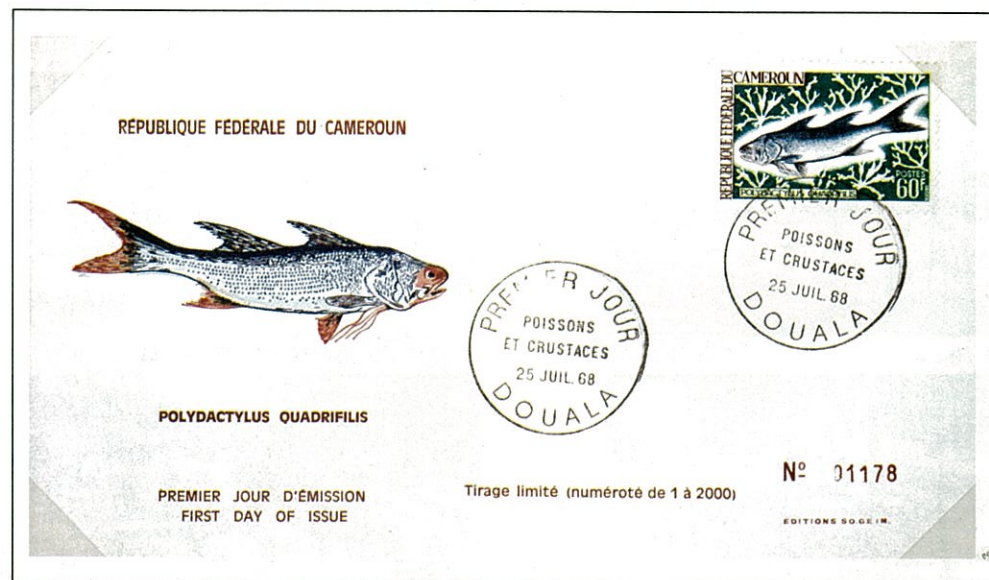


ツバメコノシロ

分類：ボラ目 ツバメコノシロ科
 学名：*Polydactylus plebejus*
 英名：Threadfin

本州中部以南から中西部太平洋、印度洋にかけて分布し、幼魚は黒色味をおび、内湾や河口域の浅い砂泥底に群がる。体型はボラ科の魚類に似ている。背鰭は2基で、その間隔は十分に離れ、背鰭の高さは高く、尾鰭は鋭く2又し上縁・下縁とも大きい。胸鰭は上下二つに分れて、下方のものは遊離鰭条から出来ていて、類似した魚類との識別はこれがあるかないかで、容易である。この遊離鰭条は海底の餌を見つけるための感覚器官と考えられる。吻は鋭く突出し、小さな口は腹面に開く、眼は大きく、脂脛が発達する。体長50cmに達し、魚市場ではボラと同様に扱われるが、それほど美味ではない。



イソギンポ

分類：スズキ目 スズキ亜目 イソギンポ科
 学名：*Blennius yatabei*
 英名：Blenny

太平洋側では福島県、日本海側では山形県以南の南日本、及び朝鮮半島沿岸に分布し、岩礁地帯や珊瑚礁地帯で見られる。小型の鱗のない細長い体に、背鰭は1基で棘条と軟条との間はやや深い溝状になっている。前鼻孔には小さな1個の皮弁があり、眼の直上にはその先端が櫛歯状に分枝した1個の皮質突起があって、雄のこの突起は長く延びる。口は水平に開き上顎を突出することは出来ない。両顎前部には発達した櫛歯が1列に並び、その奥に犬歯があって、藻類を食するに適した仕組になっている。色彩の変異は大きい。食用にはならない。全長9cm。



イソギンポ



ハタタテギンポ

